

大阪はびきの医療センター 呼吸器系内科 専門研修プログラム概要

1	はじめに
	大阪はびきの医療センター（当センターと略す）内科専門研修プログラムは、呼吸器内科学を体系的に研修し、専門性の高い呼吸器領域の診療を行うことのできる臨床医を育成し、プログラム終了後は呼吸器内科学の分野で指導的役割を担う人材となることを目指しています。
2	専攻医の到達目標
	専攻医は、初期研修の基礎の上に、呼吸器内科全般に精通した呼吸器内科医としての知識、診療技能、臨床遂行能力習得を目指します。
3	専門医・認定医取得目標
	第一目標：総合内科専門医 第二目標：呼吸器内科専門医、アレルギー学会専門医、 呼吸器内視鏡専門医、がん治療認定医、がん薬物療法専門医
4	専攻医の研修期間
	専攻医は当センターで3～12か月の呼吸器系内科研修を行うこととします。しかし、これに当てはまらない研修を行う場合は、基幹病院の専門研修管理委員会と当センターの内科専門研修委員会が協議して研修期間を決めることになります。
5	専門医・認定医を取得するための具体的な方法
	<ol style="list-style-type: none"> 1) 当センターのカリキュラムは、日本内科学会、新・内科学会の定める基幹病院の研修プログラムに準拠して、呼吸器領域の「研修手帳（疾患群項目表）」に定められている呼吸器領域の8疾患群を速やかに研修することを目指します。 2) 8疾患群とは、1) 感染性呼吸器疾患、2) 気管・気管支・肺の形態異常、外傷、3) 免疫学的機序が関与する肺疾患、特発性間質性肺炎、薬物・化学物質・放射線による肺障害、じん肺症、4) 肺循環異常、5) 呼吸器新生物、6) 胸膜疾患、縦隔疾患、横隔膜疾患、胸郭・胸壁の疾患、7) 呼吸不全、8) 呼吸調節障害です。 3) 各疾患群において、主治医として経験の求められる到達度レベルAグレードの症例を1症例以上受け持つことになります。 4) 呼吸器8疾患群を速やかに経験し、呼吸器系悪性腫瘍を併せて経験することで総合内科専門医取得後に呼吸器内科専門医、がん治療認定医を取得するための症例数を確保することが可能になります。 5) また、アレルギー2疾患群、抗酸菌感染症など感染症1疾患群の症例を経験することで、アレルギー学会専門医取得するための症例数を確保することも可能です。 6) 呼吸器専門医取得目指す専攻医は、呼吸器内科系の重要な症例に関しては和文ないし英文の論文を筆頭著者で報告する必要があります。指導医はそのサポートを行います。

大阪はびきの医療センター呼吸器系内科専門研修週間スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日日曜日
午前	呼吸器内視鏡カンファレンス		呼吸器内視鏡カンファレンス	呼吸器内視鏡カンファレンス	肺腫瘍内科抄読会	担当患者の病態に応じた診療/オンコール/日当直/講習会・学会参加など
	入院患者診療 呼吸器総合外来	入院患者診療 呼吸器総合外来	入院患者診療 呼吸器総合外来	入院患者診療 呼吸器総合外来	入院患者診療 呼吸器総合外来	
					肺腫瘍内科カンファレンス	
午後	入院患者診療/呼吸器内視鏡検査	入院患者診療/呼吸器内視鏡検査	入院患者診療/呼吸器内視鏡検査	入院患者診療/呼吸器内視鏡検査	入院患者診療 集中治療科カンファレンス	担当患者の病態に応じた診療/オンコール/当直など
	感染症内科カンファレンス	アレルギー内科カンファレンス		呼吸器内科カンファレンス		
	がんボード/肺腫瘍内科カンファレンス 放射線科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肺腫瘍内科	治験カンファレンス				
	Web講演会/院内外の研究会・講演会/担当患者の病態に応じた診療/オンコール/当直など					